

本別町地域公共交通会議 会議要旨

○開催日時 平成28年6月22日（水）午後2時～午後2時20分

○会場 本別町体育館研修室

- <出席者>
- ・帯広運輸支局首席運輸企画専門官 頼本 英一
 - ・帯広運輸支局運輸企画専門官 藤本 広記
 - ・十勝総合振興局地域振興部地域政策課主査 小松 潤史
 - ・十勝地区交通運輸産業労働組合協議会事務局長 前田 英司
 - ・十勝地区バス協会事務局 山本 康友
 - ・毎日交通株式会社代表取締役 千葉 元逸
 - ・有限会社北海陸運総務部部長 大和田 鉄也
 - ・本別町自治会連合会会長 北谷 和雄
 - ・本別町 高橋町長、砂原副町長、村本健康管理センター事務長
大槻建設水道課長、佐々木教育次長、高橋企画振興課長

（事務局）倉崎課長補佐、小川課長補佐、松寿主事

○会議事項

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 議 題

(1) 太陽の丘循環バス運行経路の一部変更等について

(2) 平成29年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

○会議の経過 別紙のとおり

○会議結果 (1) 内容原案のとおり了承。

(2) 内容原案のとおり了承。

別紙

【会議の経過】

1. 開会 高橋企画振興課長

2. 会長挨拶

本日は、お忙しいところ、お集まりいただき、ありがとうございます。

本日の議題である太陽の丘循環バスについては、これまで地域、住民の声を聞きながら、都度見直しを行い、運行の効率化や利用性の向上に努めてきたところであります。

今回は、太陽の丘循環バスの運行経路の一部変更と、国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業の平成29年度補助申請に必要な「地域内フィーダー系統確保維持計画」について提案させていただきます。

今後も地域公共交通の利便性の向上に努めさせていただきたいと考えておりますので、本日の協議もよろしく申し上げます。

3. 議題

(1) 太陽の丘循環バス運行経路の一部変更等について [資料1]

<倉崎課長補佐より説明>

今回の提案につきましては、天候、路面状況によって運行に支障をきたしている路線を解消するためのものがございます。ご提案させていただく路線につきましては、北大回りコースです。

現状は20番のみどり公園前で左折しまして、坂道を登り、緑町仲通りを經由後、21番の共栄集会所へ向かっておりますが、みどり公園前から緑町仲通りにかけての坂道が急傾斜となっております。冬期間の天候によって凍結等している場合、走行ができないことがあります。そういった場合には運行に支障をきたしますので、比較的傾斜の緩やかな国道まで出まして、現状とは逆回りで緑町仲通りへ向かい、急傾斜については下り坂で走行できるよう提案させていただきます。なお、このことによって運行距離は約100m増えますが、タイヤ等には影響ありません。

(2) 平成29年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について [資料2]

<松寿主事より説明>

本日提案させていただく計画につきましては、地域協議会等の協議を経て策定され、確保維持事業の制度活用のための要件となるものであり、平成29年度事業(事業年度:平成28年10月1日~平成29年9月30日)の運行にかかる補助申請に必要な計画となるものであり、本町では、今回で6年次目となります。

「フィーダー系統」とは、バスの停留所、鉄道駅、港や空港において、地域間交通ネットワークと接続する系統のことをいい、「太陽の丘循環バス」も十勝バス幹線に接続する地域フィーダー系統ということで、本事業の対象要件となっております。先ほどご確認いただきました運行ルートにより、平成29年度事業を進めさせていただくものでございます。

<以降、計画（案）に沿って説明>

4. 質疑応答 特になし

6. 閉会